

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

IDS
Translate

(11)Publication number : 04-242889

(43)Date of publication of application : 31.08.1992

(51)Int.Cl.

G07G 1/12

G06F 15/00

G06F 15/30

G06F 15/30

G06F 15/62

(21)Application number : 03-000372

(71)Applicant : NEC ENG LTD

(22)Date of filing : 08.01.1991

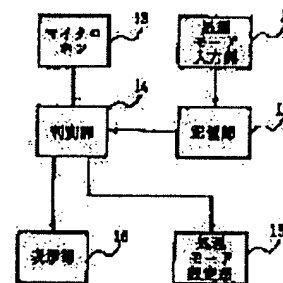
(72)Inventor : SAITO MINORU
SAITO MARI

(54) PROCESSING MODE SETTING SYSTEM IN POS TERMINAL

(57)Abstract:

PURPOSE: To allow only a registered person to set up the allowable range of a processing mode in a POS system.

CONSTITUTION: An operator registers his (or her) voiceprint or fingerprint and a processing mode allowable range inputted from a processing mode input part 11 in a storage part 12. When the operator inputs voice or the fingerprint from a microphone 13 or an image scanner in the registered state, a decision part 14 collates the read voiceprint or fingerprint with the voiceprint or fingerprint stored in the storage part 12, and when both voiceprints or both fingerprints coincide with each other, a processing mode setting part 15 sets up the previously registered processing mode allowable range.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

特開平4-242889

(43)公開日 平成4年(1992)8月31日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 7 G 1/12	3 2 1 E	8921-3E		
G 0 6 F 15/00	3 3 0 F	7323-5L		
15/30	L	6798-5L		
	3 3 0	6798-5L		
15/62	4 5 0	9071-5L		

審査請求 未請求 請求項の数3(全 3 頁)

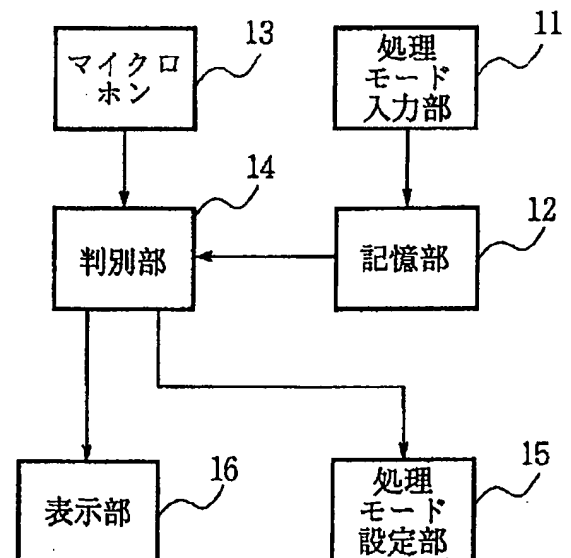
(21)出願番号	特願平3-372	(71)出願人	000232047 日本電気エンジニアリング株式会社 東京都港区西新橋3丁目20番4号
(22)出願日	平成3年(1991)1月8日	(72)発明者	斎藤 稔 東京都港区西新橋三丁目20番4号日本電気 エンジニアリング株式会社内
		(72)発明者	佐藤 麻里 東京都港区西新橋三丁目20番4号日本電気 エンジニアリング株式会社内
		(74)代理人	弁理士 内原 晋

(54)【発明の名称】 POS端末における処理モード設定方式

(57)【要約】

【構成】扱い者は声紋または指紋と処理モード入力部11または31から入力した処理モードの許可範囲とを記憶部12または32に登録しておく。この状態で扱い者がマイクロホン13またはイメージスキャナ33から音声または指紋を入力すると、判別部14または34は読み取った声紋または指紋と記憶部12または32内の声紋または指紋とを照合し、両声紋または両指紋が一致したとき処理モード設定部15または35はあらかじめ登録されている処理モードの許可範囲を設定する。

【効果】POSシステムの処理モードの許可範囲を登録した本人だけが処理モードを設定できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 POSシステムの処理モードの許可範囲と扱い者の声紋または指紋とをあらかじめ登録する登録手段と、登録された前記声紋または指紋とシステム使用時に入力した声紋または指紋とが一致したとき前記登録された処理モードの許可範囲を設定する設定手段とを備えることを特徴とするPOS端末における処理モード設定方式。

【請求項2】 前記登録手段は前記扱い者が入力した前記処理モードの許可範囲と前記声紋または指紋とを記憶する記憶部を備え、前記設定手段は前記システム使用時に入力した声紋または指紋を読み取って前記記憶部に記憶されている前記声紋または指紋と照合してその一致を検出する判別部を備えることを特徴とする請求項1記載のPOS端末における処理モード設定方式。

【請求項3】 前記設定手段または判別部が選択した処理モード実行のメッセージを表示する表示部を備えることを特徴とする請求項1または2記載のPOS端末における処理モード設定方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はPOS端末における処理モード設定方式に関し、特に声紋または指紋の照合により処理モードを設定するPOS端末における処理モード設定方式に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、POS端末では処理モードの設定には鍵を使用しており、扱い者別の処理モードの許可範囲の制限には、異なる鍵を使い分けるといった方法がとられていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の鍵の使用による処理モード設定方式では、鍵によって処理モードの許可範囲が変わっているため、オペレータには許可できない処理モードでも、鍵を持っていれば誰もが処理を行えるという欠点がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明のPOS端末における処理モード設定方式は、POSシステムの処理モードの許可範囲と扱い者の声紋または指紋とをあらかじめ登録する登録手段と、登録された前記声紋または指紋とシステム使用時に入力した声紋または指紋とが一致したとき前記登録された処理モードの許可範囲を設定する設定手段とを備えている。

【0005】また、前記登録手段は前記扱い者が入力した前記処理モードの許可範囲と前記声紋または指紋とを記憶する記憶部を備え、前記設定手段は前記システム使用時に入力した声紋または指紋を読み取って前記記憶部に記憶されている前記声紋または指紋と照合してその一致を検出する判別部を備えており、さらに、前記設定手

段または判別部が選択した処理モード実行のメッセージを表示する表示部を備えたものであってもよい。

【0006】

【実施例】次に、本発明について図面を参照して説明する。

【0007】図1は本発明のPOS端末における処理モード設定方式の第1の実施例を示すブロック図、図2は図1における動作を説明するためのフローチャートである。

【0008】本実施例のPOS端末は、図1に示すように扱い者があらかじめ処理モードの許可範囲を入力する処理モード入力部11と、この入力された処理モードとPOS制御部（図示省略）内で登録した声紋とを記憶する記憶部（磁気ディスク）12と、扱い者が音声を入力するマイクロホン13と、その音声から声紋を読み取って記憶部12に記憶してある声紋と照合する判別部14と、判別の結果両声紋が一致したとき登録してある処理モードの許可範囲を設定する処理モード設定部15と、判別の結果を表示する表示部（CRT）16とを備えている。

【0009】続いて本実施例の動作について図2を併用して説明する。

【0010】まずPOSを使用する前に、処理モード入力部11からそれぞれの使用者の声紋と処理モードとを入力して磁気ディスク12に記憶させておく（ステップS21）。この状態で使用者がPOSを利用するときは、マイクロホン13から声紋を入力し（S22）、さらに処理モードを入力する（S23）。

【0011】判別部14は磁気ディスク12に記憶してある声紋と入力された声紋とを照合し（S24）、処理モードが許可できるか否かを判別する（S25）。判別した結果、処理モードが許可できない場合（No）はCRT16にエラーメッセージを表示し（S26）、再入力するかどうかを選択する（S27）。再入力ならば（S27でYes）S22に戻り入力処理を行う。また再入力しないならば（S27でNo）終了する。S25において判別した結果、処理モード許可ならば（Yes）処理モード設定部15は処理モードを設定する（S28）。そして、選択された処理モード実行のメッセージをCRT16に表示して（S29）終了する。

【0012】次に、図3は本発明のPOS端末における処理モード設定方式の第2の実施例を示すブロック図である。

【0013】本実施例は図1に示した第1の実施例における声紋入力手段のマイクロホン13を指紋入力手段のイメージスキャナ33に置き換えた構成を有し、処理モード入力部31、記憶部32、判別部34、処理モード設定部35、表示部36はそれぞれ図1に示した同名の各部11、12、14、15、16と同様の構成および機能を有する。従って、POSシステム使用時にイメー

ジスキャナ33が扱い者の指紋を読み取って判別部34へ入力して指紋照合を行う以降の動作は第1の実施例の動作と同等のものとなる。

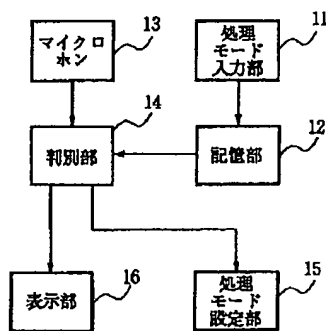
【0014】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、POS端末において処理モードを設定するための鍵をなくし、処理モードの判別を声紋または指紋照合で行うことにより、あらかじめ登録した本人だけが処理モードを設定できるという効果を有する。

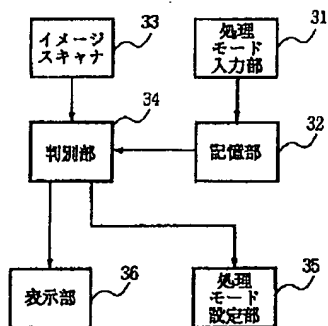
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のPOS端末における処理モード設定方式の第1の実施例を示すブロック図である。

【図1】



【図3】



【図2】図1における動作を説明するためのフローチャートである。

【図3】本発明のPOS端末における処理モード設定方式の第2の実施例を示すブロック図である。

【符号の説明】

11, 31 処理モード入力部
12, 32 記憶部
13 マイクロホン
14, 34 判別部
15, 35 処理モード設定部
16, 36 表示部
33 イメージスキャナ

【図2】

